

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月26日(火) 13:30~15:10
- 3 開催場所 羽島高等学校小会議室
- 4 参加者

会長	兼松 博之	中部学院大学専任講師(書面参加)
副会長	大竹 恵子	国際ソロプチミスト羽島会長
委員	高橋 浩之	竹鼻中学校長
	西松 幸恵	本校育友会会長
	渡辺 憲治	羽島商工会議所専務理事兼事務局長
	渡邊 早示子	羽島の未来を築く会理事
	渡邊 丈展	本校同窓会長(書面参加)
学校側	那須 貴	校長
	柴田 祐一	教頭
	柳原 英紀	事務長
	中田 啓士	教務主任
	浦部 陽	進路指導部長
	宮田 勲	生徒指導部(2年学年主任)

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長が挨拶と学校運営協議会についての説明を行った。
- (2) 校内視察、授業視察を行った。
- (3) 協議会の会長が兼松様に、副会長が大竹様に決まった。
- (4) 令和8年度スクールミッション、ポリシーと学校経営計画の説明を行った。
- (5) 教育指導の重点について教務部、生徒指導部、進路指導部の順に説明を行った。
- (6) 本校への意見、提言等

意見1： 入学者減で厳しい状況と聞く一方、少人数学級により落ち着いた学習環境が整い、丁寧な指導や主体的に選択された教材の良さが生かされていると感じた。どの教科でもプリントや資料が工夫され「学びの足跡」を大切にする取組も効果的に機能している。一方で、自主性・自発性の育成には課題も見られるが、教育改革の中での今後の取組に期待したい。

意見2： 当初は私語が多いのではという先入観もあったが、実際の授業は静かで落ち着いており、生徒は自然に話を聞く中で学んでいる様子が見られ、全体に真面目な印象を受けた。校内も清潔に保たれ、環境の良さが生徒の心の安定や学校全体の落ち着いた雰囲気につながっていると感じた。さらに、生徒と教師の関係も温かく、日頃の丁寧な関わりが生きている。授業は基礎から分かりやすく、卒業生からも高く評価されている点が印象的であった。

意見3： 6月17日に出張企業説明会を予定し、地元企業など21団体の協力のもと実施する。生徒にとって企業の具体的な仕事内容を知る貴重な機会となり、良い刺激になることを期待している。また、11月7日・8日には「ぎふ羽島駅前フェス」を開催予定であり、引き続き協力をお願いしたい。さらに、懇親会では羽島高校の話題が出て、「授業中に寝ている生徒はいない」という話から「国会でも寝ている人がいる」と冗談も交わされたが、本日実際の様子を確認し、その点も含めて改めて報告したい。

意見4： 校内は静かで落ち着いた雰囲気があり、生徒は素直で穏やかな表情が印象的でした。また、過度に周囲を意識せず自然体で過ごしている様子が見られ、安心感のある良い学校であると感じました。

意見5： 多様な職業や活動を知り体験する機会の充実が重要と考えます。羽島高校においては、地元を中心としたOBの方々の継続的な協力を期待します。とりわけ福祉分野に触れる機会が意義深いと感じます。あわせて、先生方には健康に留意され、無理のない範囲でご尽力いただくことを願います。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して承認が得られた。
- ・授業の様子を見ていただき、本校の教育活動を高く評価していただける意見が多くいただきました。
- ・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。